



小さな秋 (クリ)

名前に「キク」が付くシユウメイギクは、キク科ではなくキンポウゲ科の植物の一種です。古い時代に中国から入ってきた帰化植物で、学名の「Anemone (アネモネ)」は、ギリシャ語の『風』が語源です。また、「hupehensis」は、中国の湖北省産であることを物語っています。別名の『貴船菊』^{キフネギク}は京都貴船の群生地が有名であるため、雅な名前が付けられたようです。意外なことに、古歌で詠まれた例が見つかりませんでした。学名から『風の花』とも呼べそうですね。



学名 : Anemone hupehensis var. japonica

今、ふれあいの村では・・・

「残暑去り難し」という風情の九月の初日です。まだセミの大合唱が聞こえています。さすがに疲れてきたらしく、ひっくり返ったセミを見つけました。助け出すと勢いよく飛んでいきました。長年地中で過ごし、一週間位とも言われる短い一生を全うして欲しいものです ◆落ち葉の中にゴソゴソと動く物が有りました。立ち止まり見てみると、急に動かなくなりました。不思議に思い、葉を取り除くと、サワガニが隠れていました。まるで「ダルマさんが転んだ」をしているみたいです。



セミの抜け殻



クサギ



サワガニ (隠れています)



サワガニ (移動中)

☆来月のファミリーコミュニケーションデー:10月1日(日)

10:00 ~ 12:00 《自然観察会》キノコ、アキアカネ、ヒガンバナ
木の実、草の実...秋の花、ヤブタバコ咲く(参加費無料)

13:00 ~ 15:00 《フォーク講座》「秋の季節を描く」(材料費等:250円)

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村 (南足柄市広町1507)

指定管理者 : 足柄グリーンサービス・関東学院グループ

所管課 : 神奈川県教育委員会教育局支援部

子ども教育支援課

電話 : 0465-72-2010 FAX: 0465-72-2013

URL : <http://www.ashigara-fureai.com/>



ふれあい広場でくらししている金太郎と仲間たち。きょうは「村のなかであそぼう」とでかけました。おおくのほうにいくと、とおくにちいさなあかいものがみえました。「なんだろう?」と、ちかくまでいくと、それは、うえのほうがまんまるでまっかなキノコでした。えのところにしろいものがある、まるでようふくをきいているみたい。もうすこしちいさいときは、タマゴのようにしろいものをかぶっていて、だからタマゴダケってなまえがついたらしいよ。しろくまんまるのころは、タマゴダケのようきんというのだけど、ゆでたまごのからをおくときみたいに、うえのほうからだんだんとむけてくるんだって。ことしは、ふれあいの村でたくさんはえたそうだよ。おおきさはじゅうごせんちくらいあったんだってさ。

★フィールドワーク★

自然の生活とは?

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。

9枚の写真は、今年のふれあいの村で見つけた虫たちの一部です。以前、ある講習会で、「珍しい生き物より当たり前にある身近な生き物を観察しよう。当たり前の生き物ほど、その場の環境にとって大事だから」と学びました。

足柄ふれあいの村の観察会でも、そうありたいと考えています。それをたくさんの皆さまと共有できればいいですね。



タマムシ



抜け殻 (ハラブロカマキリ)



アリと共存しているのは誰?



マメコガネとタンキリマメ



ナナフシの顔



ハイロチョッキリのしわざ?



ベッコウハゴロモ



ダイモウセセリ



イチモンジセセリ